

令和5年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
兵庫県	丹波篠山市	丹波篠山市	●	●	■	A	令和5年度の取り組み状況は概ね計画どおり進んでいると評価できる。今後は試作した商品の生産拡大のための仕組み検討、関わる人材の増加や多様化に取り組んでいきたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である兵庫県立森林動物研究センター森林動物専門員 吉崎 正美から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

兵庫県立森林動物研究センター 森林動物専門員 吉崎 正美

【意見聴取の概要】

商品開発、生産流通、販売までの体制、事業実施主体の取組体制は確立できた。さらに促進するために、既存の観光地図等への商品販売場所記載、教育機関等と連携し、子育て世代に浸透させる取り組み(柿商品を使った給食の提供、獣がい対策に関する課外授業)、地域の取り組みを体験できる事業や地域のリーダー育成など担い手確保のための取り組み等を検討されたい。